

## 「社会保障・税一体改革のポイント」

2011.12.15.

国際基督教大学 八代尚宏

1. 社会保障制度の持続性への不安感
  - ・なぜ給付削減と負担増のシナリオだけか
  - ・高齢者数の増加・平均寿命の伸長で自動的に増える給付の「中立化」
  - ・年金給付削減・保険料負担増よりも就業期間の延長（支給開始年齢引き上げ）
  - ・社会保険の収支均衡化が安定性の基本
  
2. 財政逼迫要因としての社会保障関係費
  - ・本来は収支均衡原則の社会保険会計への一般会計からの「補助金」
  - ・平成 23 年度では 29 兆円（31%）、国債費や交付税除けば 53%
  - ・（景気の局面に左右されない）構造的財政赤字の主因
  - ・社会保障関係費に目的消費税を充てることで社会保障全体の収支均衡化へ
  
3. 社会保障制度を通じた「効率的な所得再分配」
  - ・OECD の内で市場経済ベースでは小さな所得格差
  - ・税・社会保障による再分配後に拡大する所得格差
  - ・社会保障費の配分が年金と医療中心で小さな福祉の比重
  - ・給付付き税額控除（負の所得税）による包括的な最低所得保障
  - ・世代間所得移転の抑制と同一世代内の所得再分配の強化